



三世代海女さん確定申告模擬体験

相差町の三世代海女・中川さん親子が2月17日から開始された、インターネットを使った国税電子申告・納税システム (e-Tax) を模擬体験しました。

伊勢税務署員の説明を受けながら、静香さんがパソコンを操作し、10分ほどで入力を完了しました。

システム操作を体験した静香さんは「思ったより簡単。春から社会人になるので、良い経験になった」と感想を語ってくれました。



地元で採れた黒のりを子どもたちに

2月7日、答志島や菅島ののり生産者でつくる鳥羽地区黒のり養殖研究協議会と答志島黒海苔産地協議会から市内の子どもたちに、地元産のおいしい黒のりを食べてもらおうと、黒のり5,000枚の寄贈がありました。

木田市長は、「風味があっておいしいのりに子どもたちも喜ぶと思います」とお礼を述べました。

なお、寄贈された黒のりは、市内の小中学校、幼稚園、保育所の給食で提供されました。



大規模災害に備えて

市と一般社団法人三重県LPガス協会(代表理事 藤岡^{つば}氏)は2月18日、同協会が鳥羽城跡の一角に防災倉庫を設置し、ポータブルガス発電機やガスストーブ、ガスコンロなどの防災対応機器を備蓄することとする「防災拠点災害対応機器備蓄に関する覚書」に調印し、藤岡代表理事より木田市長に防災倉庫の鍵が手渡されました。

木田市長は、「万が一の際、実効力のある備えとなる。災害は来てほしくはないが、しっかりした備えは市民のみなさんにとっても心強い」と述べ、謝意を伝えました。



手作りおやつ、おいしいね

池上地区青少年健全育成会は2月15日、市立鳥羽小学校の家庭科教室で「おやつ作り教室」を開きました。

おやつ作りには、婦人団体「伊勢友の会」の会員が指導にあたり、参加した池上地区の小学1～6年生17人は、握ったすし飯を油揚げで包むいなりずし作りや、餅にピーマンやチーズを乗せて焼くお餅ピザ作りなどに挑戦しました。

子どもたちは、自分たちで作った出来たてのお餅ピザをうれしそうな笑顔で頬張っていました。